

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	コミュニティ道路整備事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
蓋架けした排水路の上部を利用し、潤いと安らぎのある生活空間として整備することにより、市民が快適に暮らしています。		市民の憩いの場や交流の場として公共用地を有効利用するため、蓋架けしてある排水路の上部をコミュニティ道路として整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	コミュニティ道路整備進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成28年度までの整備累計(1,068m)に対する当該年度までの整備累計の率					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	22	51	56	58		
	実績	22	51	55			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度 の検証結果							
平成24年度の主な取組と成果 長持56号線(入野排水路)の整備工事を行いました。							
平成24年度 の検証結果 A：成果があがった							

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	排水路の上部を有効活用しコミュニティ道路として整備することは、市民の快適な生活環境が図られることから必要性は高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	排水路の上部を利用したコミュニティ道路は、土地の有効活用が図られることから有効性は高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	安全で快適な生活環境の確保から妥当性は高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	地域住民とのワークショップ等により、理想的な道路整備が図られ効率性は高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		市民の憩いの場として活用できる排水路整備箇所が少なくなっています。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		工事、補償	工事、補償	工事	工事
財源内訳	国庫支出金	62,937	22,000	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	3,000	42,000	7,000	7,000
	その他 特財	4,232	1,399	0	0
	一般財源	3,300	14,221	942	1,000
事業費 (A)		73,469	79,620	7,942	8,000
執行率 (%)		86.84	97.16	99.28	
内訳	職員 (人)	0.70	1.55	0.80	0.80
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		5,782	12,562	6,412	6,359
フルコスト (A+B)		79,251	92,182	14,354	14,359

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	交通の状況や地域の特性に応じた整備を行います。
課長コメント	コミュニティ道路としての整備可能な路線が限られていることから歩道設置事業等への統合を検討していきます。